



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

VOL.107

月刊

ポケットあわじ

発行日 2011年4月1日



イケメン漁師～育波浦漁港編～

ふなびきあみりょう

淡路市育波で船曳網漁をしている内海智博さんは、家族全員が漁師だったので、中学校の頃から他の職業を考えることなく、漁師一直線に進み、6年目になるそうです。今では、父、兄2人、従兄弟、智博さんの計5人で3隻の船を操業しています。

2月～4月もしくは5月初旬まで、いかなご漁、続いて5月下旬から12月末までちりめん漁です。今の時期は、「こな」と呼ばれるいかなご漁の真っ最中です。車で育波の街を通ると、いかなごの釜あげ、くぎ煮のにおいが漂ってきます。

朝4時20分頃起床、5時20分出港。10時沖じまい、11時帰港。夏のちりめん漁は、起床が3時頃になります。日曜日は休日ですが、霧、風、海上での波の強いときも休みです。時には、漁場に行っても操業しないで引き返すこともあります。事故もなく、大漁で帰港し、笑顔で迎えてくれる子どもの顔を見ると疲れもふっと

びます。海のイケメンからイクメンに変身する瞬間です。休みの日は、子ども中心に出かけたり、友だちと野球を楽しんで明日の仕事への意欲を高めます。

将来の夢は、「日本中の人に『いかなご』『ちりめん』と言えば育波浦漁協と言ってももらえるようになることです。それには、お父さんをはじめ、先輩からまだまだ教えてもらうことが多くあります。そして、兄弟で力を合わせて沖へ行くこと」と澄んだ美しい瞳をキラキラ輝かせながら話していただきました。

毛利三兄弟の「三本の矢」の話を思い出しながら、これからの育波浦漁協の船引網漁は、後々までも大海原に元気よく船出できると確信しました。



内海 智博さん

応援隊：廣岡 ひろ子

育波浦漁業協同組合
淡路市育波148-3
0799-84-0031

今月の特集

春一番 魚一番 海人一番

- P.1 ・イケメン漁師～育波浦漁港編～
- P.2 ・イケメン漁師～丸山漁港編～・～岩屋漁港編～
- P.3 ・イケメン水産職人～由良漁港編～・生しらすプロジェクト

ついで

- P.4 応援隊おすすめ！美味しい魚料理のお店！
- P.5 富子一座
- 顧敏的中國考 ～日本の春分にあたる清明節～
- P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報



亀井 和明さん

イケメン漁師～丸山漁港編～

ワカメのしゃぶしゃぶの季節になると淡路に住んでいて良かったと思います。緑色のつやつやワカメの食感はコリコリ。絶品です。そ

※1
の絶品ワカメは南あわじ漁協で1シーズンに100t収穫されています。「1シーズンに個人が生産する量としてはうちが全国一です。」と小磯組合長。

そんな組合長認定のイケメン漁師さんは、漁師歴26年の亀井和明さんです。取材に伺った3月上旬はワカメの最盛期。亀井さんは朝5時に起床、愛船 秋丸(あきまる)に乗ってワカメ漁に出ます。早春といっても真冬のような気温の中で冷たい海水を触りながらのワカ

メ収穫は「とにかくキツイ」
そうです。風の強い日に危険な思いをしたこともある

南あわじ漁業協同組合
南あわじ市阿那賀1463-6
0799-39-0005

とか。漁師さんたちは周りの船の様子を見ていて危ないと思ったら、自分の危険をかえりみず必ず助けにいくそうです。ワカメが終わると5月からは、はえなわ漁で穴子とガシラ、6月からお盆前までは鱧の漁です。そんな漁のコツも漁師仲間の先輩に教えてもらい体得してきたと亀井さん。漁師はみんな仲がいいけどライバル心は強いと組合長。

お話を伺っているうち、南あわじ漁協全国一の秘訣は個々が内なるライバル心と優しい心を持ち切磋琢磨していることだと確信しました。春たけなわ。ドライブがてら丸山漁港に行ってみませんか？

応援隊：川原 雅代、浜田 泰美

※1 平成20年丸山漁協と阿那賀漁協が合併



【南あわじ漁業協同組合長 小磯さんと亀井さん】



岸本 保さん

イケメン漁師～岩屋漁港編～

碧い海、青い空、白い雲、明石海峡大橋を背に、

岸本保さん(46歳)は岩屋で漁師をしています。主にイカナゴやシラスを捕る船曳網漁です。

ふなびきあみりょう

船曳網漁とは2隻の船で網を曳く漁法で通常、運搬船1隻を加え3隻で1つの船団となるのが基本です。

家では5組の網と3隻の運搬船、合計13隻で操業しています。

ひな祭り、菜の花、山の芽吹き・岩屋の春といえばイカナゴ！！くぎ煮の匂いが岩屋の街に溢れ、春が来たことを知らせてくれます～♪彼は、この季節になると夜明け前の朝

5時ごろから岩屋港を出漁して網船の曳く網からイカナゴを取り込み、岩屋港の荷揚げ場に運びます。少しでも早く鮮度のよい魚を届けるため、帰港中にイカナゴをかごに入れ整理します。目の前が最高の漁場、明石海峡ということもありますが岩屋港では競りの最中でもイカナゴが跳ねていることもよくあるそうです。



【イカナゴ】



岸本さんは「小学校の頃、給食においしい魚が出ていなかった。だから、自分の子供や孫には地元のおいしい魚を食べさせたい。」と熱く語ってくれました。

応援隊：竹代 結

淡路町漁業協同組合
淡路市岩屋1414-1
0799-72-3046

イケメン水産職人～由良漁港編～

梶原 圭太さん



洲本市由良漁港にある梶原水産は、アットホームな海産物加工所です。応援隊が訪ねた日、1つの水槽を囲んで冬の間に獲れたナマコの卵巣と内臓を取り出す作業中でした。この卵巣を塩漬けにして干したものが珍味中の珍味「くちこ」です。のんべーにはたまらん一品となりま

す。内臓も塩辛のように瓶詰めにしてご飯の友となります。

これから春にかけては黒ウニの加工、初夏には有名な由良の赤ウニ、夏場はハモ、冬場はふぐ・・・と1年中大忙しだそうです。

その梶原水産を担うイケメン君、梶原圭太さん(21)は高校卒業後、父の高弘さん(46)と母の春美さん(46)、祖父の土井正勝さん(69)と一緒にこの仕事をしています。

「キツイ仕事やけど、お客さんから美味しかったと便りをもろたらうれしい。目標は、おやじに頼んでも大丈夫になることかな。」とさわやかな

笑顔が印象的でした。春はすぐそこ・・・。「くちこ」を着に桜の花見はいかがですか？



水産加工品のお問い合わせは梶原水産へ。

応援隊: 岡 八代井、浜田 泰美

洲本由良漁港: 梶原水産
洲本市由良町内田557
0799-27-0770



淡路島生しらすプロジェクト ～島の生しらす～

淡路島観光協会
岩屋案内所
0799-72-342



つつつるでぷりっとした食感、これまで一部の人のみが独占してきたこの漁師の味を広く地元の皆様や観光客の方に味わっていただきたい！という思いから、淡路町漁業協同組合(淡路市岩屋)と北淡路地域ブランド推進協議会が主催となり、淡路島生しらすプロジェクト「島の生しらす」がしらす漁解禁をもってスタートします。

しらす漁は例年、4月下旬～5月上旬に解禁されます。岩屋港のしらす漁は港

から最短で数百メートルの漁場、明石海峡ということもあり、捕獲してから荷揚げ場までの運搬時間が5分かかりません。漁が終わると、すぐに岩屋漁港に戻り、とれたてで新鮮な上質のしらすを水揚げ。時間をおかず、市場で競りにかける前にベテランの魚の目利きが鮮度の良いしらすのみを厳選して先取りします。この

特選素材を加熱せず、滅菌、急速冷凍した「島の生しらす」を淡路市内の飲食店や宿泊施設、約30店舗で販売予定。さらに、供給体制が整いしたい淡路島全島(洲本市、南あわじ市内)の店舗でも料理を提供してもらう予定です。

淡路島の特産品

「島の生しらす」

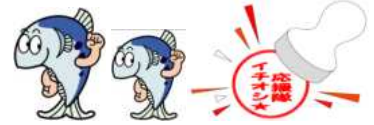
5つのこだわり

- 一. 淡路島岩屋漁港で水揚げされたしらすであること
- 一. ベテラン職人が目利きし納得したもののみを使用すること
- 一. 水揚げ後「先取り」し、そのままの鮮度で瞬間冷凍すること
- 一. 料理人は「驚き」と「感動」を与える渾身の料理を提供すること
- 一. 漁師・加工業者・販売店、関わる全ての者が一体となり淡路島の「新鮮な魚」の魅力でたくさんの「笑顔」を創ること



応援隊: 竹代 結

応援隊おすすめ！美味しい魚料理のお店！



万代 “板前おまかせ定食”

南あわじ市福良甲291-5
TEL 0799-52-1140
定休日 火曜日昼・水曜日



福良の南淡図書館の斜め前にある大きな暖簾の掛かったお店は、いかにも地の物をおいしく出してもらえそうな店構えです。落ち着いたお座敷でお昼のメニューを見せてもらうと、目に飛び込んでくるのが「板前おまかせ定食」。-まかない料理です。-と何が出来るのかその

都度わかりません。-と書かれたお奨めメニュー。一緒に行った応援隊メンバーと「これを食べなきゃお話にならないよね～」と注文しました。

料理が出てきてびっくり！！ 結構な大きさのかわいいの煮付けに、キスの南蛮漬け、初物のシラスとワカメのお吸い物、卵焼きの上にも釜揚げがのって盛りだくさんな定食。これでこのお値段は、とっても

お得、嬉しくて拍手です。

お昼をいただいた後、お客さんがひっきりなしで忙しいご主人に伺ったところ、漁師町の地元のお店なので何度も市場に足を運び、培った目と経験と人脈でその日のお得な魚を選んでくれるため、数や大きさのそろってない場合、来たお客様の人数で使う魚が替わったりするそうです。又良い物がない時はお店を開けないときもあるそうです。



夜や法事のお料理も良かったと一緒にいった応援隊のお墨付きのお店でした。

応援隊：坂本 厚子
川原 雅代

HAIG “素敵なHAIGで昼食”



洲本市海岸道り2-2-21
TEL 0799-24-2833
定休日 日曜・祭日(土曜15時迄)

海岸通りに一雅荘(ビジネスホテル)があり、その一階にHAIGがあります。大人が喜ぶカロリー控えめの日替わり定食(コーヒー付き)のお店です。HAIGの料理は家庭料理。特に鰹の竜田揚げがお客さんに喜ばれています。またお肉がメインの時でも、鰹のたたき・鯖の煮つけ・サンマの開き・サゴシ焼きなどが添えられていたり、野菜も沢山ついています。しっかりしたテーブル・モダンな絵や時計を見ながら、料理は旨みたっぷりあっさり味で、最後のコーヒーがたまりません。男性客もよく見かけます。夜は10人からの貸切との事。ぜひ“昼食

¥1000なり”でほっこり気分を味わって見てください。(HAIG=スコッチウイスキーの名前から)
応援隊：川野 喜美枝



大瀬 “お得なお造り定食”

淡路市室津2556-2
TEL 0799-84-2002
定休日 月曜日

応援隊の廣岡さんおすすめのお店、淡路市室津の大瀬(おおぜ)へランチ(コーヒー付き)を食べに行ってきました。大瀬は気さくで男前の阿南さんが経営するすし屋で、すしはもちろん刺身や煮付け、魚料理なら任せて～って感じの料理屋でした。漁師町(炬口)出身で魚料理、特に刺身を食えることが大好きな私は、ルンルンと西浦海岸をドライブしながら大瀬へと向かい、カウンター席でお造り定食をいただきました。取材日時は土曜日のランチタイムで、地元の家族連れや漁師さんたちが長靴をはいてすし屋に来ていたのにはちょっとびっくりでしたが、気取らず家庭的なお店なんだと感心しました。ホームページを見て魚を食べた～いと島外からのお客様も多いそうです。



夜の閉店時間は店主の気のままで(時々居酒屋)と店主の阿南さんが楽しそうに話してくれました。次は美味しい魚をあてに一杯飲みに行きたいです(笑)。



応援隊：田村 ひろ子

「富子一座」~お芝居のはじまり、はじまり~



いつもの踊りと歌の敬老会に「なにか違うことがしたい」と考えた当時の婦人会会長 山下富子さんが、お芝居を提案。南あわじ市の中本美和さんに脚本・演出をお願いして、出来上がったのがコミカルでそして人情ものの時代劇「お伊勢の鈴」。演じる俳優陣はお好み焼き屋さん、小料理屋のお手伝いさん、スーパーのレジ係りさんにOLさん。芝居は全くの素人さんばかり。山下富子さんの名から、その名も『富子一座』が産声をあげました。

芝居の上手・下手ではなく笑いながらみてもらうお芝居が受けて10年。その間“小梅ばあ”の演じる悪質商法撲滅PR劇「備えあれば憂いなし」、環境問題を考えた「もったいないばあ」などが大人気で、今では淡路島内だけでなく県下のあちこちから出演



依頼が舞い込みます。青少年防犯イベントで一座が演じた顔グロの女子高生（平均年齢？十歳）は、圧巻だったとか。本番中、セリフを忘れて客席からやじが飛んだり、予期せぬセリフが飛び込んだりとハプニングの連続ですが、それがまた見ている側にはおもしろいんだとか。



「笑いながら見てもらえるお芝居、見た人が元気になるお芝居を続けたい」とは、一座全員の願い。公演依頼があればどこへでも出かけます。乞うご期待。

応援隊:村上 紀代美

[問合せ先]
中本 美和 TEL 080- 5365- 0868

くーみん 顧敏的中國考

~日本のお彼岸にあたる清明節~



清明(せいめい)は24節気の一つであり、民間の祝日でもある節気で、いつも4月4~6日の間に迎えます。2500年以上の歴史をもち、隋唐(581~907年)には、清明節前後に先祖のお墓参りをする習慣が始まりました。そのことから「清明節」は「掃墓節」(そうぼせつ)とも呼ばれました。中国の伝統的な墓参りは、先祖のお墓をきれいに清掃し、花束や花かごをささげてます。そして、供養の品々を並べ、酒を地面にまき、紙銭を燃やして供養する習慣があります。清明の頃には、暖かくなってきて、緑もだんだんふえ、気分も晴れてくるのでピクニックを楽しみにしている人もたくさんいます。だから、清明は「踏青」(とうせい)とも言います。青い色の団子「青团」を(日本のヨモギ餅みたい)食べる習慣もあるからです。

唐代有名な詩人 杜牧とぼくが清明について著名な詩を書きました。

清明時節雨紛紛、路上行人欲断魂。
借問自由何処有、牧童遥指杏花村。
清明時節雨紛紛、路上行人欲断魂。
借問自由何処有、牧童遥指杏花村。

(訳)清明は春分の日から十五日目、花の季節であるが、雨が多い。清明の時節に、しきりに降る雨。雨の降りしきる道を、ひとりの旅人がゆく。ただひとり旅ゆく人の胸は、かえってさみしさにしめつけられる。せめてこのさみしさを酒にまぎらわそうと、ちょっとたずねてみる。居酒屋はどのあたりにあるかね。牛の背にまたがった牧童は、黙ったままゆつくりと指さした。それは杏の花咲くかなたの村だった。



応援隊:幹田 顧敏

★淡路文化会館からのお知らせ★

淡路文化会館「いざなぎ学園」

第22回 淡路だんじり唄 コンクール

募集中

平成23年度の主な講座

- 心に響くふるさとのお唄
- 大河ドラマ〜江〜
- 知って得する冠婚葬祭
- 温泉と旅行を楽しむ10の方法
- 意外と知らない薬の知識
- 若さを保つヨガ
- 元気っ子フェスティバル実践活動
- 歴史浪漫、淡路の句碑を歩く
- 城下町洲本の仏像はここを見る
- 研修旅行、サークル活動
- 特別講座（発表会、パソコン講座他）



携帯からは
QRコード
でクワクワ

講座対象：シニア世代の方
講座内容：地域文化、歴史、健康、
消費者生活、福祉、趣味など
募集締切：H23年4月1日（金）
応募方法：公共施設等のチラシ
または淡路文化会館
ホームページをご覧ください。
主 催：（財）兵庫県生涯がい創造協会
問合せ先：淡路文化会館
TEL 0799-85-1391

約200名の方が学生
生活をおくっています！

第22回 淡路だんじり唄 コンクール

【日 時】

平成23年5月15日（日）

9:00 ~ 19:00

【場 所】

南あわじ市三原公民館

南あわじ市市三條880

TEL 0799-43-5038

【出演団体】

淡路市内各地の祭礼団

だんじり唄愛好グループ等

【問合せ先】

淡路文化会館

TEL 0799-85-1391

※詳しくは淡路文化会館 HPを
ご覧下さい。

★淡路消費生活センターからのお知らせ★

消費者相談窓口が変わりました！

平成23年4月1日に兵庫県組織改編に伴い、
淡路生活科学センターが淡路県民局内(洲本
総合庁舎内)に移転しました。

消費生活相談の際は下記の住所・電話番号に御
来所、またはお電話下さい。

名 称： 淡路消費生活センター

移転先住所：〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋 2-4-5
洲本総合庁舎内 2階

電話番号：0799-23-0993

相談時間：9：00～12：00、

13：00～16：30

（土日祝日・年末年始は除く）



所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
兵庫県立淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL : 0799-74-1200 FAX : 0799-74-1201 10 : 00~18 : 00 (最終入館17 : 30)	淡路花祭2011 「花見の庭」	3/12 (土) ~4/17 (日)	大人600円、65歳以上 (要証明) 300円、高校生300円、中学生以下無料
	淡路花祭2011 「淡路夢舞台 薔薇祭」	4/23 (土) ~5/31 (火)	大人600円、65歳以上 (要証明) 300円、高校生300円、中学生以下無料
	ナチュラルリスト 萩巣 樹徳 講演「薔薇の来た道」	4/24 (日) 13:00~15:00	参加費無料 (別途入館料要) ※要予約
淡路島国営明石海峡公園 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL : 0799-72-2000 FAX : 0799-72-1200	チューリップ アイランドパーティー	4/2 (土) ~4/17 (日) 開園 : 9:30 開園 : 18:00	シルバー-200円 大人400円 小人80円 ※駐車料金が別途必要
	ふわふわ遊具	3/19 (土) ~5/8 (日) ※期間中の土・日曜日 10 : 00~17 : 00	参加費200円 ※8歳未満対象※別途入園料・駐車料金必要
淡路市立しづかホール 〒656-2132 淡路市志筑新島5-4 TEL : 0799-62-2001 FAX : 0799-62-6465	マリさんのおしゃべり ピアノコンサート	4/16 (土) 開場14 : 30 開演15 : 00	全席指定 ¥2,500 (税込) [問合せ先] しづかホール
	健康体操&リラクゼーション 心も体もリラックス!! 受講生募集!	H23年4月~6月 毎月2回月曜日 13 : 30~15 : 00 ※リハーサル室	受講料 : 1回¥1,000 ※要予約 [問合せ先] しづかホール
	ジャズダンス講座 KIDSクラス フリースタイルジャズ 受講生募集!	平成23年4月~9月 毎月2回金曜日 KIDSクラス16 : 30~17 : 45 フリースタイルジャズ18 : 15 ~19 : 45 ※リハーサル室	受講料¥12,600 (12回分) ※要予約 [問合せ先] しづかホール
洲本市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL : 0799-24-4450 FAX : 0799-24-4452	田尻洋一 スプリングコンサート	4月24日 (日) 1部13 : 30~ 0歳児から親子で楽しむコンサート 2部16 : 00~ ピアノリサイタル ※ビバホール	有料 [問合せ先] 市民交流センター Tel 24-4450
洲本市文化体育館 〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋 1丁目1番17号 TEL : 0799-25-3321 FAX : 0799-25-3325	若林薫 ピアノ教室発表会	3/30 (土) 開演13:00 ※文化ホール「しばえもん座」	入場無料
	バスケットボール 淡路リーグ(一般)	5月 15日(日)22日(日)29日(日) 受付 9:00 試合開始 9:30 ※メインアリーナ「しおさい館」	観覧無料 淡路バスケットボール協会 担当 : 水井手 TEL:090-7109-5818

東北関東大震災~チャリティー販売会~“淡路土音陶芸展”

淡路土音陶芸展は陶芸愛好家同士が作品を鑑賞し、楽しみかつ研鑽のために開かれていた展示会ですが、今回、東北関東地方大災害の現状を鑑み、この展示会をチャリティー販売会に変更いたします。

[期間]4月1日(金)~3日(日)AM10:00~PM6:00(最終日のみPM4:00まで)

[場所]サンシャインホール2階ギャラリー(淡路市浦148-1)

[問合せ先]淡路土音実行委員会広報担当 高木一法 松本ひづる TEL0799-74-6202



ギャラリーインフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL : 85-1391 FAX : 85-0400	美サロン展 (美術展示ボランティア作品展)	3/26 (土) ~ 4/10 (日) 9:00~17:00 ※展示室	観覧無料
	淡路地区の伝統芸能と文化のパネル展 (DVD放映「草香八幡神社遣いだんじり」)	3/26 (土) ~ 4/10 (日) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
	ふたり展 ~上撫則子・竹川百合洋画作品展~	4/12 (火) ~ 4/27 (水) 9:00~17:00 ※展示室	
	井村澄展模型展	4/12 (火) ~ 4/27 (水) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
	くらしの中の書展	4/29 (金) ~ 5/8 (日) 9:00~17:00 ※展示室・県民ギャラリー	
洲本市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 24-4450 FAX 24-4452	淡路文化会館 淡路洋画セミナー 平成22年度受講生作品展	4/1 (金) ~ 4/29 (金) 9:00~21:00月曜休館 ※7-ルギャリー	観覧無料
洲本市文化体育館 〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1-1-17 TEL 25-3321 FAX 25-3325	第27回 淡路エビネ愛好会 展示会	4/30(土)~4/1(金) 9:00~17:00 初日10時~ ※会議室1A-3	淡路エビネ愛好会 担当：上所22-7063 事務局：東22-6933
南あわじ市滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL36-2314 FAX36-5408	開館20周年記念 かな書のこころ—森本栖鳳書作展 自由に 強く 深く おもむくままに —加登 互書展	4/16(土)~6/19(日)	大人500円 高大生300円 小中生200円 ※小中生は「ココロカード」「のびのびパースポート」利用可 [問合せ先]玉青館 TEL : 0799-36-2314
	(特別展開関連イベント) 書の話しと席書—森本栖鳳—	第1回 4/24(日) 14:00~ 第2回 5/22(日) 14:00~	

編集だより

3月に世界を震撼させた東北太平洋沖地震で多くの方が亡くなり、また被災されました。亡くなられた方のご冥福と被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害のニュースの中でいつも気掛かりなのが食物アレルギーを持つ子ども達のことです。うちの娘は、卵や小麦・乳製品など5つの食物アレルギーがあり、それらを完全に除去した食生活を送っていて、微量でもそれらを食べると発作が起きて生死にかかわります。避難所の食事の中にはパンやうどんだけという様子を見ますが、重度のアレルギー症状の子どもはいずれも食べられません。食べられるものが何一つないという状況を想像するだけで、恐ろしくて体の震えが止まりません。もちろん、大病の方やさまざまな事情で苦しんでいる方達が沢山いらっしゃいますが、こんな事情を抱えている子ども達がいることも理解しておいて頂きたいんです。

最後に今なお被災で大変な思いをしている方々に、どうか希望の光を信じて一步一步進んで下さい。応援しています。

応援隊：松原 真弓

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。

淡路文化会館のホームページ【<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>】でご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ！



(発行) 淡路生活創造応援隊
 淡路文化会館
 〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391
 FAX 0799-85-0400

